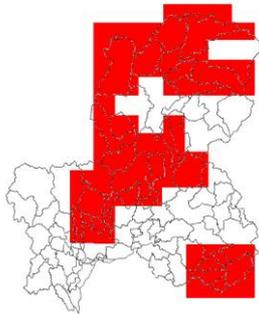


ヒメニラ	<i>Allium monanthum</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
		ユリ科
選定理由	生育する集団と個体がかかなり減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	地下に送出枝を出すことがある。鱗茎は卵形から球形。葉は1-2枚、線形、長さ10- 20(-23)cm、幅2-7mm。花茎は高さ5-10cm、幅は1mm以下、先端に1-2個の花をつける。花被片は楕円形、長さ4-5mm、白色から淡紫色。花柱は長さ2mm、3裂する。	
生態的特徴	草地と疎林の林床。花期は3-5月。	
分布状況	極東に分布し、日本では本州と九州にある。岐阜県では県北にやや広く分布し、県南では最北部と東部の南端にもある。標高は800m以下。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘